



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

2017～18年度テーマ

中村ロータリークラブ

例会記録 (2017～2018)

会長/松田 基

幹事/荒川 泰士

会報委員長/星野 努

創立/昭和38年10月2日

例会日/水曜日 12:30～13:30

例会場/新ロイヤルホテル四万十

事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F

TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553

●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2515

第2646回 平成29年10月25日(晴れ)

本日のプログラム：職場訪問例会 ドリーマー中村葬祭館

11月1日(水)：ゲストスピーチ 小林洋太様 (BODY WISEパーソナルトレーナー)

11月8日(水)：美化ゾーン野外清掃例会

【会長挨拶】松田会長

・皆さん、こんにちは。今日は職場訪問ですが、我々にとって非常に身近に感じる部分です。お世話になるのが、すぐ来ないように祈っております。

台風一過の良い天気の中で、この葬祭場の職場訪問ということで、今後の終活に向けて良い機会ですので皆さんで勉強しましょう。

横田さん、よろしくお願いします。



ドリーマー中村葬祭館 (四万十市佐岡)

【委員長挨拶】川村職業奉仕委員長

本日は、沢山お集まりいただきまして、ありがとうございます。今日は、ドリーマー中村葬祭館での職場訪問例会です。これからは横田会員にお話しをして頂きます。講話のあとに施設見学もさせて頂けるようですので、よろしくお願いします。



例会風景 (ホールにて)



【本日のプログラム】 職場訪問例会 「ドリーマー中村葬祭館」



■山本 純子様 (ドリーマー中村葬祭館 司会業務担当)

本日は、中村RCの皆さんにお越し頂きまして、誠にありがとうございます。

弊社は、結婚式やお葬式の会社でございます。その中でいろんな縁がございます。嬉しいご縁もありますが、悲しいご縁もございます。社員一人一人、いろいろな形のご縁を大切にしております。

人の一生の中で、出会う数はほんの少しだと聞いております。そしてここにお集まりの皆様とのご縁を大切に願っております。これよりは、終活について当会館マネージャーでもあります横田道明より紹介させていただきます。

■横田 道明会員 (ドリーマー中村葬祭館マネージャー)

本日はようこそお越しくださいました。

先程、ご縁という話がありましたが、川村さんも神職のベテランですので僕以上にいろいろな経験をされていると思います。最近、よく耳にすると思いますが、「家族葬」というのをご存知でしょうか。でも、四万十市では少ない現状です。市場調査では10%に満たないという結果です。

では、この言葉はご存知でしょうか。「直葬」という言葉です。これは、直接、火葬場へ行くと思われている方が多いのですが、火葬場は24h営業ではないので、受け入れる所がないので、普通は自宅へ帰りますが、直葬を希望される方の多くは、当館のような施設で受け入れて宗教色がまったくない状態で、お棺に納められあと24時間経過し、確認をとった後に火葬場に運ばれる。これが直葬になります。

最近、直葬を希望される方が増えているのが現状ですが、自分たちも日々関わっている葬儀の中で、ご遺族さんから耳にするのは最後のことなので、特別なことはしなくても家族で集まって親族を呼んでちゃんと送りたい、というご意見が多いので、こういったご縁ごとを大事にしながら自分たちも良きアドバイスが出来たらと思っています。

「心記想伝」という、「お葬儀かわら版」を毎月20日に新聞折り込みに入れてあります。葬儀にまつわる情報や、自分たちの経験で感じたことを掲載しています。造語ですので辞書には載っていませんが、終活やエンディングノートを書く上で、「心に記した想いを伝えましょう」ということで作った言葉です。

エンディングノートなどは法的拘束力はありませんが、これを書くことによって、“自身をこの年で見詰め直すことができました” “子供たちにまだ伝えてないことを書くことが出来ました” “へそくりの事までは言えないが、どこそこにお金を預けている” と言うような事がちゃんと書きました、という声をお客様から聞きました。

また、実際にお客様から、母がエンディングノートを書いていたので、それに沿った葬儀をしてもらえませんか？と相談され祭壇の飾りつけなどを故人の想いに沿ってすることが出来たりと、いろんな効果があると思えました。これを書いている方は50代の女性が多く、親の葬儀を経験して書こうと思う方が多いようです。また、生前にご夫婦で遺影用の写真を準備される方もおります。

最近では、永代供養の相談が増えています。都会で就職し家庭を持ち、もう田舎には帰らないというケースが増えています。お墓や仏壇に関して、どうすれば良いかという相談ですが、専門の神職、住職、もしくは私共に相談頂ければと思います。

2～3日の葬儀の日程の中では全てが滞りなく終わるのは難しいので、その前のご相談事として考えることが昔より増えて来ています。

元気なうちに、皆さんが何を考えて、誰に何を伝えていくのか。と言うことを心に留めて想って伝えて頂きたいと思えます。弊社でも終活サポートをしておりますので、ご利用下さい。

ご清聴ありがとうございました。

